



(株)長谷工コーポレーション
取締役会長

辻 範 雄

ステークホルダーの皆様へ

長谷工グループは「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。」ことを企業理念に掲げ、「住まいと暮らしの創造企業グループ」としてお客さまをはじめとしたステークホルダーの皆さまに支えられてきました。当社では2030年3月期に目指す姿「住まいと暮らしの創造企業グループにおける更なる飛躍」に向け、安全・安心・快適な住まいの提供を目標に掲げ、分譲マンションを中心に環境配慮型住宅や高齢者住宅のご提供、再開発・建替の実施等、これからのわが国の実情に即した取り組みに邁進し、社会やステークホルダーの皆様のお役に立てればと考えております。

引き続き、社会課題の解決に取り組みつつ、最終年度を迎えたNS計画の重点戦略と位置付けたコア事業の競争力強化や不動産関連事業の投資拡大、DXや人的資産への投資など、将来の成長に向けた取り組みを強化してまいります。また、強固な財務基盤を維持しつつ、成長戦略投資の加速と株主還元の拡充を図り、資本効率性をより意識した経営に努めるとともに、グループ各社の連携をさらに高め総合力を発揮することで、サステナビリティに積極的に取り組み、持続可能な企業グループとして発展を続けてまいります。

長谷工グループ理念

企業理念

都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する。

行動指針

- 1.「お客さま第一」:最良の品質と最善のサービスを提供しよう
- 2.「誠実」:誠意を尽くして仕事にあたり、信用をかちとろう
- 3.「挑戦」:総合力と行動力で新しい世界を切り拓こう
- 4.「感謝と誇り」:感謝の気持ちを忘れずに、自信と誇りをもって働こう
- 5.「品格」:志を高く、品格のある社会人をめざそう

グループスローガン

住まいと暮らしの創造企業グループ

Contents

会長メッセージ・理念・目次・編集方針 02

トップメッセージ 04



長谷工グループの価値創造

- 集合住宅と長谷工のあゆみ 10
- 長谷工グループの事業概要 12
- 連結財務・非財務ハイライト 14
- 価値創造プロセス 16
- 長谷工グループの経営資源 18
- 長谷工グループのビジネスモデルとコアコンピタンス 20
- 財務担当役員メッセージ 22
- 中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」の進捗状況 26
- サステナビリティ推進担当役員メッセージ 30
- 特集:長谷工グループのDX戦略 32

編集方針

『長谷工グループ統合報告書2024』は、幅広いステークホルダーとのコミュニケーションツールとして位置付けています。中期経営計画や事業戦略、CSRの取り組み、また、長谷工グループの成長(価値創造)ストーリーをご紹介します。当社グループの理解促進のためにご活用いただけましたら幸いです。

対象期間

2023年度(2023年4月~2024年3月)
但し、一部対象期間外の情報も含めています。

対象組織

長谷工コーポレーション、子会社84社及び関連会社10社を対象としています。

発行

2024年9月

見直しに関する記述

当報告書におきまして、掲載した予測は報告書作成時点の当社判断に基づくものです。そのため、様々な要因の変化により記述されている将来見直しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

ガイドラインへの対応

『長谷工グループ統合報告書2024』は、国際統合報告フレームワーク(IIRC)、GRIスタンダードを参照しています。

事業戦略

- 建設関連事業 36
- 不動産関連事業 38
- サービス関連事業 40
- 海外関連事業 42
- 社外取締役メッセージ 44

価値創造基盤の強化

- 長谷工グループのサステナビリティマネジメント 48
- 2023年度 長谷工グループCSR行動計画 52
- 信頼される組織風土 54
- 住んでいたい空間 62
- 働いていたい場所 68
- 大切にしたい風景 84



データセクション

- 経営成績の分析 92
- 連結財務諸表 94
- 会社概要/株式情報 98